

第1学年 社会科 学習指導案

学校名 東大阪市立 盾津中学校
授業者 坂田 明

1. 日時 令和7年12月10日(水) 第5限 13:20~14:10
2. 場所 1年5組 教室
3. 学年・組 1年5組 38名
4. 単元名 古代までの日本と世界 「使用図書：中学校社会・歴史的分野(日本文教出版)」

5. 単元の目標

- 様々な資料などの読み取りを通して、古代までのイメージをつかみ、年表や地図から日本と世界の出来事やつながりの様子を読み取ることができる。[知識及び技能]
- 古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや東アジアとの交流と天皇や貴族の政治や文化の変化などに着目して、古代までの社会の変化の様子を考察し表現することができる。[思考力、判断力、表現力等]
- 古代までの日本と世界について見通しをもって学習に取り組もうとし、課題を主体的に追及・解決しようとする態度を養う。[学びに向かう力、人間性等]

6. 教材観

本単元は、古代までの日本の大きな流れを世界の歴史的背景に時代の特色を踏まえて学習し、日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを時期や年代と関連付けながら現在とのつながりに着目して考えることができる。また、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付けることで、多面的・多角的に考察し、自ら考えたことを表現することができる単元である。

本題材は、パフォーマンス課題として、「古代の王子になりきり国の成り立ちをまとめる」という設定の課題を提示する。自身が王子として国王から国を譲り受けるために、長い年月をかけて築いてきた国の成り立ちについて理解し、狩猟生活を送っていた時代から農耕が始まる時代までの過程を、ワークシートにまとめる課題を単元の初めに提示しておく。古代の日本の歴史を学んだ上で、最終的に古代国家が形成されていく過程を整理しながら理解させ、今後の時代の学習につなげさせたい。

7. 指導観

生徒はこれまでに、1学期から2学期途中までは地理的分野において、世界の気候や世界の州ごとの文化や経済についての学習をすすめてきた。地理的分野で学んできた自然地形と気候の因果関係や、州ごとの人口分布の違いなど社会科における学習において、暗記とまらないような学習を進めてきており、入学当初に比べ社会的な事象に関心を持つ生徒も増え、授業において疑問に思ったことを、教員に積極的に質問をすることも多くなってきている。歴史的分野においても、各年代においての社会的な事象に興味を持ちながら登場する人物や出来事について日本がどのようにして生まれ発展していくことになるのかを学習していこうとする姿勢がみられている。

本単元は、最終的にパフォーマンス課題として、古代の日本の歴史についてまとめる学習活動を行う。よって、毎時間の授業においては各時代の特徴について時系列も含めて生徒に理解させておく必要がある。そのため、授業プリントにおいては、パフォーマンス課題に取り組むことを想定しながら作成していく。振り返りをした際に、生徒が時代背景をつかみ、最終課題に取り組みややすいような工夫を盛り込むことで、パフォーマンス課題に取り組んだ際、本単元の時代の特徴を「わかった」と感じることができるような授業展開を目指したい。

指導にあたって、単元のはじめと比べ、古代までの日本の流れを大切にし、様々な資料から歴史に関する情報をまとめたり、調べたりすることができる技能を身に付けさせるために、授業の中で「わかった」と生徒自身が理解できるようにする。そのため、本時で取り組むパフォーマンス課題を利用し、古代までの日本に関わる事象について、各時代においての課題を生徒自身が主体的に追及・解決していき、次の時代の学習につながりを持たせるような授業を展開していく。

8. 単元と特につながりのある“中学校区におけるつきたい力”

つきたい力	自分を受け入れ行動する力	他者を理解しつながる力	なかまと課題を見つける力
学習活動	パフォーマンス課題を通して、本時まで学習してきた古代までの日本の流れを説明できる。		

9. 単元の評価規準

- 資料の読み取りを通して、古代までのイメージをつかみ、年表と地図から日本と世界の出来事やつながりの様子を読み取っている。[知識・技能]
- 人類の進化の移り変わりや古代文明や宗教が起こった場所や環境に着目して、事象を相互に関連づけて世界各地に文化が築かれたことについて考察している。[思考・判断・表現]
- 地理の学習も含め、編の問いに対する学習の見通しを立て、学習を通して明らかにしようとしている。[主体的に学習に取り組む態度]

10. 単元の指導と評価の計画（全9時間）

時	学習内容	主な評価規準 [観点]
第1時	「人類の出現」 人類の誕生と進化、農耕と牧畜の始まりについて学習する。	人類の暮らしについて、新石器時代の気候の温暖化と関連づけて、採集・狩猟生活から農耕・牧畜生活へ変化したことを考え表現している。[思考・判断・表現]
第2時	「古代文明の誕生」 メソポタミア文明・エジプト文明・インダス文明など各文明の特徴を学習する。	各文明がいずれも農耕・牧畜が発展しやすい大河の流域でおこっていることを理解している。[知識・技能]
第3時	「中国の文明と東アジア世界」 統一国家の誕生から朝鮮半島の様子について学習する。	各時代の特徴について、国家が領土や支配地を治めるために整えたしくみの変化を捉えている。[知識・技能]
第4時	「ギリシャ・ローマの文明」 都市国家の成立について学習する。	アテネやローマで生み出された民主政や共和政の特徴について考え、表現している。[思考・判断・表現]
第5時	「文明と宗教」 三大宗教のおこりについて学習し、現在の世界に与えている影響について知る。	三大宗教について、おこった地域や広まっていく過程に着目して、宗祖・教え・年代などを理解している。[知識・技能]
第6時	「縄文時代」 縄文時代の人々の暮らしについて考える。	縄文時代の人々の暮らしの様子を、衣食住や習慣などを通して理解している。[知識・技能]
第7時	「弥生時代」 弥生時代の人々の暮らしについて考える。	稲作の広がりが、弥生時代の人々の暮らしや社会の変化に影響していることを理解している。[知識・技能]
第8時	「ヤマト王権と渡来人」 古墳の広がりやヤマト王権による日本の統一について学習している。	渡来人がもたらした技術や文化がヤマト王権の日本統一に与えた影響について、説明している。[思考・判断・表現]
第9時 本時	「パフォーマンス課題」 古代の王子になりきり国の成り立ちをまとめる。	狩猟・採集時代から農耕生活までの各時代の特徴をとらえ、時代のながれを説明している。[思考・判断・表現] パフォーマンス課題を通して、古代までの日本の時代の流れを自ら積極的に理解し探求しようとしている。[主体的に学習に取り組む態度]

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ◎ パフォーマンス課題「古代の王子になりきり国の成り立ちをまとめる」を通して、本時まで学習してきた古代までの日本の流れを説明できる。

(2) 本時の評価規準

- ◎ 狩猟・採集時代から農耕生活までの各時代の特徴をとらえ、時代のながれを説明している。[思考・判断・表現]
- ◎ パフォーマンス課題「古代の王子になりきり国の成り立ちをまとめる」を通して、古代までの日本の時代の流れを自ら積極的に理解し探求ようとしている。[主体的に学習に取り組む態度]

評価基準

評価A (十分満足できる)	評価B (満足できる)	評価Bに達していない子どもへの支援
狩猟・採集時代から農耕生活までの各時代の特徴をとらえ、富や土地をめぐる争いの発生などについてそれぞれの関係性などを説明している。	狩猟・採集時代から農耕生活までの各時代の特徴をとらえ、時代のながれを説明している。	本時までの授業プリントのなかで、パフォーマンス課題に活用できる項目を提示する。
古代における日本の国の成り立ちを、図表なども活用し、成り立ちの過程を多面的・多角的に論述している。	パフォーマンス課題「古代の王子になりきり国の成り立ちをまとめる」を通して、古代までの日本の時代の流れを自ら積極的に理解し探求ようとしている。	本時までの授業プリントのなかで、パフォーマンス課題に活用できる項目を提示する。

子どもに示す評価基準

S	A	B	C
古代における日本の国の成り立ちを、図表なども活用し、成り立ちの過程を課題にふれながら説明できる。	狩猟・採集時代から農耕生活に変化していく中で、各時代の特徴を具体的に説明することができる。	古代までの日本の歴史のながれを簡単に説明することができる。	各時代の学習の振り返りをまとめることができる。

(3) 本時の学習過程

個：1人で P：ペアで G：グループで C：クラスで

時間	○学習内容・学習活動	形態	予想される子どもの反応	●指導上の留意点 ◎評価規準 (評価方法)
10分 導入	めあて パフォーマンス課題「古代の王子になりきり国の成り立ちをまとめる」を通して、本時まで学習してきた古代までの日本の流れを説明できる。			
	ステップ1 ○ 前回までの授業で学習してきた各時代の特徴について整理する。	C	・ 人類は猿人から進化した。 ・ 宗教は今の世界にも影響を与えている。 ・ 縄文時代は狩猟や採集が中心だった。 ・ 弥生時代から稲作が始まった。など	● 生徒の発言については、板書しておき、パフォーマンス課題の活動に役立てるようにする。 ● 各時代での学習内容について、電子黒板にも提示する。

35分 展開	<p>ステップ2</p> <p>○ 最終課題に向けての準備シートに記入する。</p>	個		<p>● 生徒にシートの記入の注意点を説明し、評価基準の確認をする。</p>
	<p>○ テーマごとにふりかえりを行い、キーワードを活用しながらシートにまとめていく。</p> <p>ステップ3</p> <p>○ 最終課題「古代の王子になりきり国の成り立ちをまとめる」を記入する。</p> <p>○ 各時代の特徴を文章にまとめることで、時代の変化を考える。</p>	個	<p>・ シートの記入の仕方が分からない。</p> <p>・ キーワードになるものは何か教えてほしい。</p> <p>・ ふりかえりをまとめるときのポイントは何?など</p>	<p>● シートの記入が難しい場合は具体的に何を書いたら良いかを、見本なども示しながら説明していく。</p>
5分 まとめ	<p>○ 本時のふりかえりを行い、ワークシートを提出する。</p>	個	<p>・ 評価について気になる。</p> <p>・ どうすればA評価?など</p> <p>・ 旧石器時代と新石器時代では使っている道具が違う。</p> <p>・ 農耕が始まることで、定住生活が始まった。</p> <p>・ 4大文明が起こったのは大河周辺である。</p> <p>・ 日本では縄文時代になると狩猟・採集だけでなく定住するようにもなってきた。</p> <p>・ 稲作が始まると、「ムラ」から「クニ」への変化がみられるようになってきた。</p> <p>・ 「クニ」のなかには海外とも交流するものもあった。</p> <p>・ 日本では奈良県を中心にヤマト王権が誕生し、各地の豪族たちを従えていた。など</p>	<p>● 最終課題の内容が評価に直結するため、どこにポイントがあるのか再度説明する。</p> <p>ポイント</p> <p>狩猟・採集時代から農耕生活までの時代の流れを文章でまとめる。</p> <p>● 机間巡視を行いシートの記入を促す声掛けを行う。</p> <p>◎ パフォーマンス課題「古代の王子になりきり国の成り立ちをまとめる」を通して、古代までの日本の時代の流れを自ら積極的に理解し探求ようとしている。〈主体的に学習に取り組む態度〉(行動観察)</p> <p>● 時間が足りない生徒については宿題とし、提出期限も併せて提示しておく。</p> <p>◎ 狩猟・採集時代から農耕生活までの各時代の特徴をとらえ、時代のながれを説明している。〈思考・判断・表現〉(ワークシートの記述)</p>
		C	<p>・ 最後までできていないから待ってほしい。</p> <p>・ もっと内容をこだわって書きたいから持って帰ってもいい?</p> <p>・ 各時代の特徴にふれながら時代の流れをまとめるのが難しかった。</p> <p>・ 時代の流れをまとめることで今までの学習の重要なポイントを覚えることができた。など</p>	